

ふく福便い(緩和ケア病棟新聞) 第5号

ギアチェンジとは

一般的に、癌に対する三大治療(手術、抗癌剤治療、放射線治療)を中止して症状緩和を中心にした終末期医療に転換することをギアチェンジと呼んでいます。治療と緩和ケアが並行して行われる過程で、残念ながら治療抵抗性を示した場合、患者さんが葛藤しながらも気持ちを切り替え、残された時間が少しでも苦痛軽く尊厳あるものになるよう医療者は援助していく必要があります。闇雲に治療ばかり続行し、期待を持たせると、患者さんのみならず、御家族までも心身ともに傷つき、つらい記憶となってしまいます。患者さんは希望と現実のギャップで苦しんでおられます。尊厳ある生き様を導く優しさや度量が我々には求められるところです。

緩和ケア内科医師 沖政



担当者のつぶやき...

立秋が過ぎ、暑さが和らいできた今日この頃。皆さんいかがお過ごしでしょうか？緩和ケア病棟では8月3日に納涼会を行いました。そうめん流し・たこ焼き・ヨーヨー釣り・射的・カキ氷と盛りだくさんの内容で、他病棟スタッフや栄養室の方々も含め、たくさんのご協力・ご支援ありがとうございました。普段、食欲が落ちていた患者さんが、かき氷をおいしそうに食べたり、自分でたくさんそうめんをとって食べる姿を家族が見て、驚くこともありました。また、天然の素材(竹)を使い、水を流すことで涼しさも感じて頂けたことかと思えます。来年も皆で盛大に開催できたらいいなと思います。

🐟 次回のイベントは...

🐟 9/7(水) 15:00~お月見まつりです
🐟 ぜひご参加ください^^

🐟 編集担当:松浦・山根・久保河内